2013年度 第6回（通算 第250回）幹事校会記録

日時：2014年4月23日（水）15時00分～17時15分
場所： 大阪産業大学梅田サテライトキャンパス　大阪駅前第3ビル19階
出席（敬称略）：12校24名

追手門学院大学	（田中 耕二郎）（井ノ口 淳三）
大阪産業大学	（山田 全紀）（谷田 信一）（西口 利文）（定金 浩一）
関西大学	（若槻 健）（松浦 紀哉）
関西学院大学	（冨江 英俊）（岡本 哲雄）
近畿大学	（杉浦 健）（田中 保和）
神戸女子大学	（多畑 寿城）
神戸女子短期大学	（吉泉 和憲）
四天王寺大学	（八木 成和）（桝井 克廣）（高岸 由香子）（今西 智徳）
摂南大学	（朝日 素明）（大野 順子）
姫路獨協大学	（中嶋 佐恵子）
桃山学院大学	（島田 勝正）
近畿大学	（田中 保和）（杉浦　健）

議長：山田　全紀
記録：杉浦　健

議事:
（1）前回幹事校会の記録確認
前回幹事校会の記録が訂正なく確認された。

（2）全私教協理事会および委員会報告
・大阪産業大学谷田氏より教員免許制度検討委員会報告がなされた。私立大学の特色ある教職課程事例集のしめきりが5月に迫っていること、教員養成課程の質保証評価制度が東京学芸大、玉川大学などで計画されていることが報告された。
・大阪産業大学西口氏より資料に基づき、全私教協理事会の報告がなされた。
交流集会の決算や、新規加盟（予定）校、退会(予定)校、定期大会、研究大会の準備、研究大会のシンポジウムのテーマなどについて報告がなされた。
また、阪神地区分科会について、開催が午前中、第3分科会であること、1 日目の昼食時間に司会、記録、発表者の打ち合わせを開く予定であること、その時のお弁当代は阪神の予算から支出されることが確認された。また理事会および各種委員会は2日目の午

後からであることが伝えられた。

・定期総会、研究大会、研究交流集会における役員、事務局関係者の参加費の取り扱いについて資料に基づき確認された。

専門委員会運営規定について、資料に基づき確認がなされた。関東と阪神は2名、推薦が可能、任期を設けず、などについて確認された。

次期の役員、専門員会などについて、資料に基づき報告がなされた。編集委員会は、空欄だが大阪産業大学の西口氏が担当すること、免許事務検討委員会も決定済みであることが報告された。

（3）2014年度全私教協研究大会における分科会の運営について

特に検討事項はなかった。

（4）2014年度定期総会の運営について

・大阪産業大学山田氏より、定期総会次第案に基づき総会を行いたいこと、決算について5月7日に会計監査の予定であることが報告された。

資料の本年度支出について、外部委託費の内、印刷費、阪神教協リポートデータベース印刷費が例年より多くかかった（73420円の赤字）。印刷部数、印刷枚数が増加したためであり、総会の資料と合わせて268000円の決算とのことであった。去年は218000円で5 万円アップした。今後、データベースの設問を半分にするなど、阪神教協リポートも含め、予算削減すべきか検討することが提案された。

他に赤字になったところとして、幹事校会の会合費が赤字であったが、これは11月の研究交流集会に関連して1回幹事校会が多かったためであることが報告された。

収入について、会費は予定通りであった。予算よりもわずかに少なくなっているのは振込手数料のためということであった。情報交換会の参加費については、参加者が見積もりより少なかったためということで52000円減であった。

ここで追手門学院大学田中氏より、事務局の経費は支出しているかの質問があり、大阪産業大学山田氏より人件費で計上しているとの回答がなされた。

・特別会計については、支出がなく、そのまま来年度に繰り越しされることが報告された。

また特別会計の利子については一般会計に繰り入れることが報告された。

研究交流集会の収支決算書については、取り決め通り、収入から支出を差し引いた黒字分の半額は全私教協に送金、残り半額から振り込み料を除いた収入は来年度予算の一般会計に繰り入れることが報告された。

・2014年度新役員、委員候補者一覧について、幹事校として関西福祉科学大学、神戸学院大学が新規候補として報告された。これに伴い、神戸学院大学に監査委員（幹事校以外）

を依頼することができなくなり、適任者が検討され、奈良大学、大阪学院大学、大阪経済法科大学などが候補とされた。依頼交渉は事務局に一任。

・2014 年度活動方針および事業計画について、まず予算案について検討が行われた。消費税増税のため単純計算であれば３％増加することになることが指摘された。また、初年度は消耗品代がかかる（封筒など）ので、15 万円を 30 万円に増額する予定であることが報告された。レポート編集費については前回よりも現在編集中のレポートは安くなること、特別寄稿がないと安くなること、別刷り希望が多いと高くなるなどが指摘された。外部委託費については、本年度 7 万円の赤字が出たため、40 万円にする予定である。またレポート編集費はいつもぎりぎりなので、少し増額をした方が良いということになり、14 万円から 20 万円に増額する提案がなされた。

・追手門学院大学の田中氏より、現在の予算は毎年の会費収入より多くなっているが、原則論としては会費収入内ですべきではとの指摘があった。また予備費が多すぎるので、特別会計に予備費を回すというやり方もあるとの提案もあった。

上記の検討事項を中心として現事務局と次期事務局四天王寺大学で検討して総会に提案することが決定された。

・総会の方法について確認がなされた。会長校選出法について、幹事校会を承認、選出された新役員が短時間で幹事校会を行い、会長を互選、総会で承認するという手続きが確認された。

（５）2014 年度第 1 回課題研究会の運営について

課題研究会については、全私教協分科会と同じテーマ、同じ発表者で開催することが確認された。

課題研究会(案)の配布資料（11 ページ）にミスがあり、訂正がなされた。

(誤）桃山学院大学教職課程における地域連携教育活動（開学研修）

(正）桃山学院大学教職課程における地域連携教育活動（学外研修)。

（６）阪神教協リポート No. 37 の編集について

四天王寺大学八木氏より報告があり、現在、1 回校正を終えて、4 月 28 日に発送、総会には配布できる予定とのことであった。

・関連して、次年度より 2 年間の阪神教協リポート編集については、関西学院大学の南本氏が担当することが報告された。

（７）阪神教協教職課程データベース（平成 25 年度版）について

事務局より、現在印刷中であり、総会には配布できる予定であることが報告された。デ

ータベースは、回答を寄せた大学に配布し、回答がなかった大学には配布しないことになっている。部外秘ということのためである。ただし、印刷予算は会員校の会費であるため、課題研究会に来た大学には配布すべきではないか、内容的に配布できるようなアンケートとすべきではないかなどの意見が出され、今後の検討課題とされた。

（８）大阪府介護等体験実施連絡協議会への委員の派遣について

大阪府介護等体験実施連絡協議会について、近畿大学田中氏を代表として推薦すること、また協議会の開催を社会福祉協議会に要請したことが報告された。

(10) 事務局報告、幹事校会メーリングリスト他について

事務局よりメーリングリストについて登録者の変更などあればお知らせいただくようお願いがあった。

(11) 阪神教協教員免許事務セミナーの開催について

神戸女子大学多畑氏より資料に基づき開催のお知らせがなされた。5 月の定期総会、課題研究会後、受付を開始することが報告された。

免許事務に関連して、課程認定における共通開設科目の扱いや教員の業績審査について意見交換がなされた。

(12) 今後の記録担当について

次回総会と第 1 回幹事校会については追手門学院大学が、第 7 回幹事校会については大阪産業大学が、次回課題研究会については関西学院大学が記録を担当することが確認された。

(13) その他

大阪府と堺市において国語の大学推薦があったのかどうか、スクール・インターンシップにおいて水泳指導はどうしているかなど、情報交換がなされた。

以上